

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

これまでに修得した全学教育科目、専門基礎科目及び専門科目において学んだ知識を基盤としながら、理学療法学の中で生じた基礎的あるいは臨床的な疑問点や問題点などに対して研究課題を明確にし、科学的かつ妥当性のある手続きに沿って研究を行い、医学的な結論を導き出す。それらを通して、研究法に関する論理的な考察と推論する能力を体得することを目的とする。

《担当者名》○泉唯史 青木光広 山口明彦 鈴木英樹 吉田晋 小島悟 高橋尚明 武田涼子 宮崎充功 佐々木祐二
澤田篤史 長谷川純子 井上恒志郎 大須田祐亮 中村宅雄 大内みづか 山根裕司 佐藤一成 鈴木伸弥
岩部達也 多田菊代

【概 要】

理学療法研究セミナー で探索した研究課題について、文献検索および抄読を発展的に進め、研究計画を立案し実施する。さらに得られた研究結果の分析および考察、研究論文としてのまとめ、成果の報告（プレゼンテーション）を行うことで、理学療学分野における研究方法の実際を習得し、学術的視点からの研究実践能力を身につける。

【学習目標】

理学療学分野における科学的基盤を構築していくため、先行研究の調査に基づいて立案した研究計画の実施および研究成果のプレゼンテーションを行う。

1. 研究テーマおよび研究計画に基づいて研究を遂行できる。
2. 適切な手続きによって結果と結論を導くことができる。
3. 研究課題の結論に基づき、プレゼンテーション資料を作成し発表できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 30	研究課題と研究計画に基づく調査・実験 研究内容の要旨作成 プレゼンテーション資料の作成と発表	各ゼミ担当教員の指導のもと、理学療学分野や隣接領域における研究課題と研究計画に基づく調査・実験に取り組む。 データ分析および考察を行い、研究内容の要旨を作成する。 発表のためのプレゼンテーション資料を作成する。 研究内容を規定のルールに従って発表する。	担当教員全員

【評価方法】

ゼミでの積極的な参加 60%

プレゼンテーション資料作成および発表 40%

【備 考】

参考書 : 特に指定しない。

その他 : 特に指定しない。

【学習の準備】

各ゼミの担当教員の指示に従い研究セミナーのテーマの設定やプレゼンテーションについての準備および課題の整理をしておくこと。予習（セミナーの準備）についてはおおむね80分、復習（課題の整理など）についてはおおむね80分、計160分の予習・復習の時間が必要です。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP5）世界の、そして我が国の人口構成の変化、価値観の変化、文化や暮らしの変化、そして絶えず発展し続ける科学、そして医学。その中で私たちは常に人々の健康とより良い暮らしへのニーズに理学療法科学をもって応えていかなければなりません。その専門性をより広く、深く、科学的に追及していくために、能動的に研修と研究を通して自己研さんしていける能力を身につけます。